

下総基地への米軍機飛来に対し 地方自治体(市長)は拒否できる！！



1982年、下総基地がNLP（米軍艦載機夜間離着陸訓練）の候補に挙がって以来43年にわたって米軍使用を阻止し続けてきましたが、“依然油断は禁物”の状況が続いています。

① 1987年の滑走路かさ上げ工事によって下総基地にいつでもジェット戦闘機が離着陸できるようになっています。

② 在日米軍再編の報告（06年5月）においては「NLPの恒常的な施設を・・・できるだけ早く選定することを目標」にしています。

*2017年厚木基地の米艦載機59機が岩国基地に移りましたが岩国市はNLPを認めません。厚木基地では今でもタッチアンドゴー訓練（FC LP）が行われています。

*種子島から10kmの馬毛島に陸海空自衛隊の訓練基地を作りそれを米軍も自由に使えるようにと工事を着工していますが・・・米軍使用には住民の反対が多いのです。

*艦載機の米軍空母の母港は「横須賀」です。米軍は使いたいところを使おうとするのです。（日米地位協定）

私たち行政・議会・住民一体となった反対運動を行ってきました。これからもこの体制を堅持して国からのいかなる要請があろうとも基地周辺6市（柏・我孫子・市川・船橋・松戸・白井）とともに断固たる反対の声を上げ続けていきましょう。

「ジェットP-1」うるさい下総基地の騒音！

下総基地はP-1（対潜哨戒機）の教育訓練基地なので朝から夜まで何回も飛んでいます。昨年2024年4/2からジェットエンジンのP-1が正式配備。（P-1とP3Cが併用されます）ウルサイ！！

航空機騒音は調査（千葉県環境生活部）以来、市民体育館（福太郎アリーナ）周辺で33年間もうるささ指数の基準値70WECPNLを超えています。ほとんどの年が損害賠償に値する75WECPNLを超えているのです。

《2023年度測定結果（2025年3月報告）》

WECPNL70超えの地点は①柏市高柳⑦福太郎アリーナです。具体的騒音地デシベルでいうと高柳は85～95デシベル、福太郎アリーナは85～98デシベルでカラオケ室内～電車の通るガード下の極めてうるさい状況です。

でも2013年度から時間帯補正等価騒音レベル（Lden）に変更され基準値は57Ldenに。

なんと2023年度測定では12か所すべて基準値内の結果に。実際はうるさい（77.4WECPNL）のに基準値クリア（57Lden）だなんて変ですねえ。？？？



下総基地内排水 PFAS 汚染 4500ng & 1700ng/ℓ

下総基地周辺の水路・井戸水からは高い値のPFAS汚染が検出（南東部では水路 21000ng/ℓ・井戸 42000ng/ℓ。北東部で水路 2100ng/ℓ・井戸 2000ng/ℓ）され、その原因究明が急がれます。

（1ng ナノグラム=10 億分の 1g・指針値 50ng/ℓ）

★今年 3 月 5 日に下総基地内の表流水が調査され

（3/28 発表）南東部排水口①で 4500ng/ℓ、北東部排水口⑤で 1700ng/ℓ が検出されました。それぞれ基地外の水路（21000、2100ng/ℓ）につながっていることから千葉県・鎌ヶ谷市・柏市・白井市は「金山落のPFOS・PFOAの汚染原因の一つは下総基地の排水と考えられる」と特定。

★軽井沢地区の 50ng/ℓ 超過の井戸水を飲用していた住民への鎌ヶ谷市公費負担での血液検査では 10 人中 9 人が米国アカデミーのガイドライン 20ng/ml 超過した検査結果が出ました。

（5/7）血中濃度 20ng/ml を超えると健康リスクが上がるといわれています。住民の健康チェックをフォローしてもらいたいです。ちなみに 10 人の平均値ではPFOS24.3、PFOA5.9、PFHXS63.3ng/ml です。今後水などでもPFHXSの調査もすべきです。

★基地内の地下水・土壌（南東部の泡消火訓練場と北東部の平成 5 年の火災時消火剤が流れ込んだ窪地の）を調査して下総基地と周辺井戸水との因果関係を明らかにすべきです。

★今は下総基地内の排水口の水の汚染濃度を軽減するための工事が行われています。ただこれらの排水口から基地外水路へは駄々洩れ状態です。流出を防止すべきです。



危ない・うるさいオスプレイの下総基地飛来はNO！！



オスプレイは一昨年オーストラリア、屋久島で墜落。これまでに事故で 63 人がなくなってる「空飛ぶ棺桶」です。

木更津基地に暫定配備されていた陸自の「オスプレイ V22」17 機は 8/12 にはすべて佐賀駐屯地に移駐しました。これでオスプレイ飛来の心配はないのでしょうか？答えは NO です。

木更津はオスプレイの整備拠点になっているので、沖縄米海兵隊のMV22（24 機）、佐賀に移駐した陸自V22（17 機）、そしてこれから配備される予定の横須賀の米海軍のオスプレイが整備のため木更津基地にやってくるのです。常時オスプレイがいるのです。

そのオスプレイが下総基地に飛来する危険性はなくなっていないのです。その理由は・・・

○沖縄南西諸島のミサイル基地建設で米国の対中国包囲網戦略と一体となった軍事体制が作られている。日米軍事一体化の象徴がオスプレイ。「日米共同作戦計画」の実践演習が日本全国で展開されてます。米軍は日米地位協定でどこでも使いたいのです。

○防衛省は言ってます、オスプレイは習志野空挺団と一緒に活動すると。降下訓練時、入間一下総一習志野と下総基地が使われてます。

○オスプレイが立川基地へ飛んでいくのは立川基地が東京都の災害拠点だからとのこと。下総基地は千葉県の防災計画での航空拠点です。

○2019 年以来なぜか木更津のヘリコプタが下総に飛来。オスプレイは木更津ヘリコプタ団と同じところで練習すると。・・・下総に飛んできたら大変です。“オスプレイはいらない！”

“静かな空を取り戻しましょう”『鎌ヶ谷基地連協』連絡先：岡崎 080-4112-9558